

学校教育での I C T 活用に関する焼津市の取組

教育部 学校教育課 GIGA 推進室【きどう】

1 全国学力・学習状況調査の結果から

(1) 「授業で P C ・タブレットなどの I C T 機器をほぼ毎日使用した」

全国は、小学校が R 4 から横ばいで、中学校は R 元から少しずつ伸びている。それに対して、本市は、R 元は小中共に全国よりも低かったが、年々確実に伸び、本年度は、小中学校共に、全国の 2 倍近い割合となっている。

調査年度		R 元	R 3	R 4	R 5	R 6
小学校	焼津市	6.0	16.1	26.0	40.2	50.0
	全 国	10.4	11.2	26.7	28.2	25.3
中学校	焼津市	3.9	4.8	22.9	34.3	58.9
	全 国	7.0	7.4	21.6	28.1	31.0

※ 児童・生徒質問紙の結果

(2) 「P C ・タブレットなどの I C T 機器を活用することについて……」

児童生徒質問紙には、P C ・タブレットなどの I C T 機器を活用することについて、どのような効果が期待できるかを問う質問項目（28-1～28-7）がある。全ての質問事項において、本市の児童生徒は 8 割以上が肯定的な回答をしており、小中学校共に全国を上回っている。様々な学習場面で一人一台端末の有効性を実感している児童生徒が多いことが分かる。

また、質問事項 4 は、家庭学習等での I C T 機器の活用についての質問である。「使用している」という回答が小中学校共に全国平均を上回っている。昨年度の本市と比較しても、小学校+16.3P、中学校+11.3P と大きな伸びが見られる。学校内の使用に留まらず、家庭を中心とした学校外でも一人一台端末の活用が進んでいると言える。

G I G A スクール推進に係る質問事項	小学校		中学校	
	焼津市	全国比	焼津市	全国比
28-1 自分のペースで理解しながら学習を進めることができる	89.9%	+4.4	87.0%	+6.8
28-2 分からないことがあった時に、すぐに調べることができる	92.6%	+0.5	96.5%	+2.6
28-3 楽しみながら学習ができる	88.4%	+2.4	86.9%	+4.5
28-4 画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる	91.8%	+2.0	92.9%	+3.9
28-5 自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。	85.3%	+6.1	83.3%	+5.6
28-6 友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる	89.6%	+3.5	90.8%	+4.6
28-7 友達と協力しながら学習を進めることができる	89.5%	+2.4	92.5%	+7.3
4 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）1日当たりどれくらいの時間、P C ・タブレットなどの I C T 機器を勉強のために使っていますか ⇒「全く使っていない」と回答しなかった児童生徒の割合	88.7%	+14.6	76.3%	+4.7

※ 児童・生徒質問紙の結果。 28-1～28-7 は、「とてもそう思う」と「そう思う」の合計

2 焼津市の小中学校、教育委員会の取組

(1) 令和 2 年度、GIGA スクール構想に基づき、市内全小中学生に 1 人 1 台端末と校内高速通信ネットワークを整備

(2) 全小中学校で、校務分掌に「利活用リーダー」と「機器管理リーダー」を位置付け ア 利活用リーダー（令和 6 年度からは情報主任が担う）

校内で I C T 利活用に関して、教員相互支援を進める上で核となる「利活用リーダー」を校務分掌に位置付けている。利活用リーダーは、校内で I C T の使用頻度が上がることで、効果的な活用が広がることを目的に研修会の企画、運営などに取り組んでいる。

イ 機器管理リーダー

校内で、ＩＣＴ機器の保守等の管理を担う「機器管理リーダー」を校務分掌に位置付けている。機器管理リーダーが解決できない場合は、業者やＧＩＧＡスクール推進室へ連絡、相談して解決を図っている。

(3) 「焼津市ＩＣＴ利活用推進計画」を策定

- ・ 令和２年度に「焼津市ＩＣＴ利活用推進計画」の策定に着手、令和３年度の途中から専門家（ＮＴＴ）にコンサルティングを依頼して、令和４年度から運用を開始している。
- ・ 本推進計画の中で、「児童生徒の学年ごとの利活用目標」及び「校内におけるＩＣＴ利活用の状況等の目標」を設定し、取り組んできている。
- ・ 推進計画は、順次バージョンアップしている。

(4) 教育委員会 教育部 学校教育課内にＧＩＧＡスクール推進室を設置

- ・ ＩＣＴ活用を推進する専門部署を設置している自治体は希少。
- ・ 令和４年度に、ＩＣＴ活用を推進する「ＧＩＧＡスクール推進室」を設置し、専任指導主事(教員)１名、機器担当職員１名で発足。
- ・ 令和５年度からは、専任指導主事２名、機器担当職員０.５人工で運用。

【これまでの推進室の取組の実績】

- ① 年度当初 学校訪問研修(全小中学校 22 校)
 - ・ 授業でのＩＣＴ活用の必要性に係る研修
 - ・ 各学校の要望に応じた研修等
- ② 定期学校訪問(全小中学校 22 校)
 - ・ 利活用リーダー、機器管理リーダーからの相談
 - ・ 各学校の要望に応じた支援
 - ・ ＩＣＴ機器利活用の実態把握等
- ③ 教材活用図鑑の作成
 - ・ 市内教員の活用事例、実際に使用したデータの収集、市内教員への共有
- ④ みらい講座の開催
 - ・ 平日の夜間に希望者(市内教員)対象のＩＣＴ講座の開催
- ⑤ 「利活用リーダー」チャットの活用
 - ・ 利活用リーダーの情報交換、情報共有の場の提供等
- ⑥ アンケート調査の実施
 - ・ 「児童生徒の学年ごとの利活用目標」、「校内におけるＩＣＴ利活用の状況等の目標」などの達成状況を把握するための実態調査
- ⑦ 児童生徒対象のタイピングコンテストの企画、実施
 - ・ 児童生徒の基本的操作の向上に寄与するための手立て
- ⑧ ＩＣＴオンライン連絡会の実施
 - ・ 教育委員会方針等を学校に伝達、学校間情報共有などを目的に隔月程度開催
- ⑨ セキュリティ環境の強化
 - ・ 教育情報セキュリティポリシーの改訂
 - ・ 学習用端末、校務用端末、校務用ネットワーク使用に関してセキュリティを担保する方策の検討等